

島根県益田市高津地区

地域づくりのテーマ：高津っ子の住みよいまちづくり



①地区の概要

【地区の現況】

人口7,623人、高齢化率38.4%（令和6年12月末時点）
山・川・海に囲まれた自然豊かな地区です。

【地区の魅力】

自然豊かでありながらも、生活に必要な施設・設備も整っており、とても暮らしやすい地区です。又、活動団体も多く地区の行事も活発です。

小学校1、中学校1、高校1、高等技術校1、保育園4、があり教育機関も充実したまちです。

【地区の課題】

少子高齢化、人口減少、諸団体等の後継者不足、人間関係の希薄化等、様々な分野で問題・課題を抱えています。

②実施団体の概要

【団体の名称】

「万葉の里 高津未来の会」

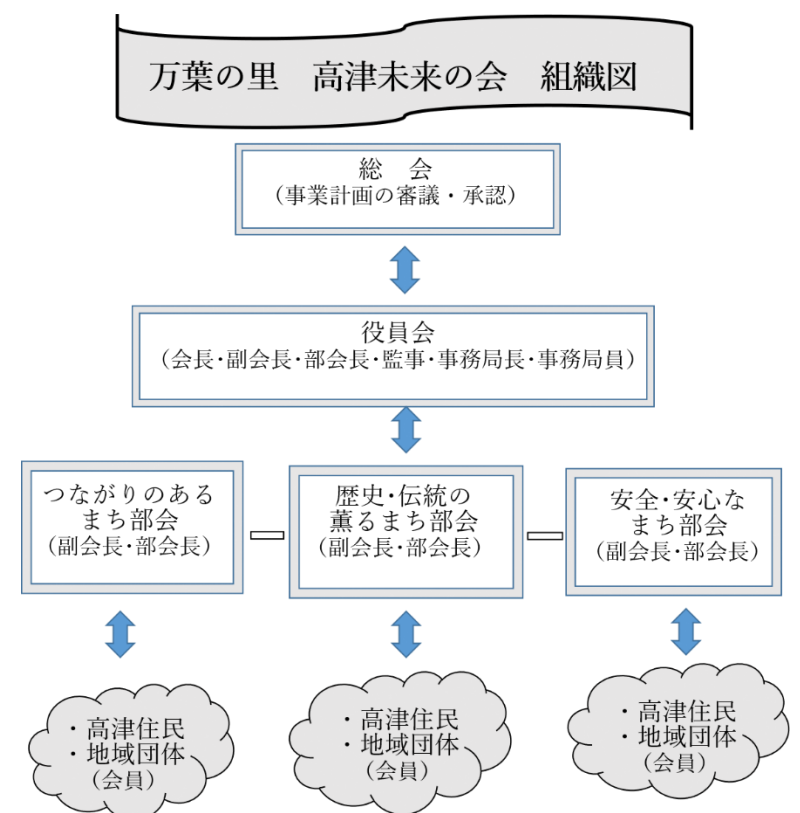
「ロゴマーク」



【構成団体、構成員】

- ・高津地区住民
- ・各種団体
- ・各種団体から代議員20名
- ・公募より代議員4名
- ・役員（会長1名、副会長3名、部会長3名、監事2名）

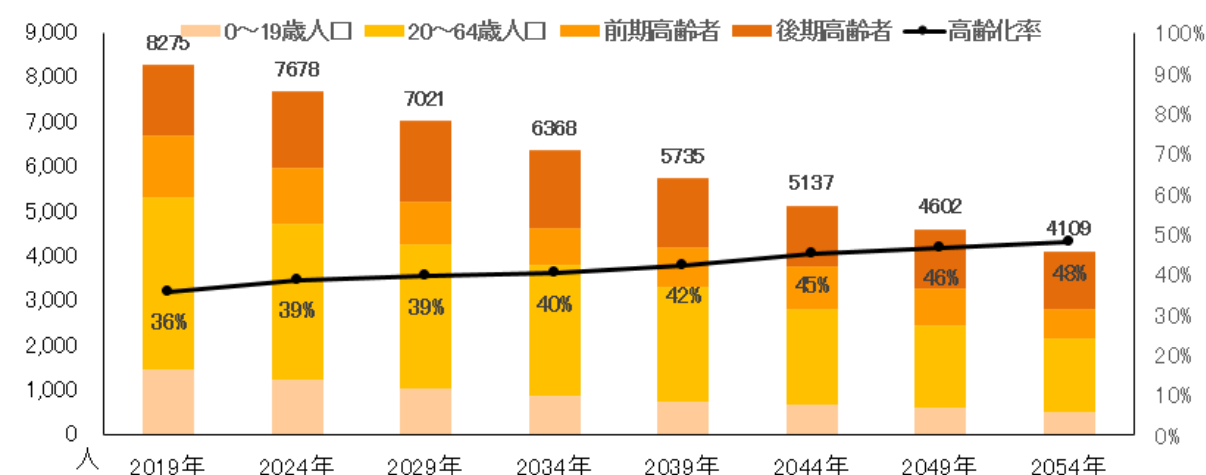
【団体の組織図】



③地区の人口シミュレーション

【現行推移】総人口・高齢化率

益田市 高津地区



資料：島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

☆令和6年度から「広報 高津」と称し、公民館、自治組織や他団体の情報を1つの広報紙にし、地区内に回覧。その他にも、会議・行事等の様子もその都度インスタグラムで情報発信。告知端末放送も活用し、より幅広い世代への情報発信に努めている

☆公民館活動と並行して、講座や事業に取り組んだ

☆永年続けられている子ども見守り活動（登下校等）を継続し進めてきている

☆益田市と島根県立大学との共同研究を活用し、2016年に所属団体が調査し作成した「高津十景」をデジタルアーカイブした。小学3年生の総合的な学習に活用し、数度の学習会を行った

☆ひとまるフェスタやありがた市を開催。地域の人々が参画できる場・人と人がつながる・人が集う場づくりを実施している



【会長よりメッセージ】

当会にとって第2期目の1年目であった。特段の新たな企画をしたのではないが、第1期目の活動の反省・検証に立って事業の充実を図った。
当該組織の諸々の状況を鑑みるに、現状の抜本的改革を行うには厳しいものを感じている。

島根県益田市高津地区

⑤こんなことが話し合われています



○定期総会を5月18日(土)に開催

- ・事業報告、決算報告
- ・第2期目となるプラン、3カ年計画の承認
- ・事業計画(案)、収支予算(案)の承認



○役員会を5回行いました。(1月末現在)
○各部会会議は、各部会ごとに必要に応じ開催。役員会で、情報共有を行ない事業を実施した



○歴史伝統文化の薫るまち部会
× 連理松センター × 高津公民館

冬休みの子どもの居場所づくりコラボ企画！[ひとまるくんを描こう]
ひとまるくんのアイシングクッキーを作成。建設したての松崎の郷や高津蛸座石臼の歴史も学んだ



○ひとまるフェスタを主催開催

今年度より当会がひとまるフェスタを引き継ぎ開催した。開催するために高津地区を中心とした様々な団体が集まり何度も協議を重ねた

⑥こんな地域づくりを行なっています

ありがた市

毎月第2・第4木曜日
10時～11時に開催。
2年目となり定着してきている。
ひとまるフェスタ×高津地区文化祭でも出店した。



地域交流会

公民館、連理松センター、つろうて子育て協議会、保・幼・小・中・高、地域団体が協力し行った事業。



柿本人麿の終焉伝承を継承する事業



10月22日に
竣工式・説明会を行った



ふるさと教育デジタルアーカイブ事業 × 県 大

2016年に地域団体「高津の歴史と文化を考える会」が作成した高津十景をデジタル化。毎年、高津小学校3年生の総合的な学習の中で活用してもらえることになった。



(SNSにて公開中)

登下校の見守り



毎日の見守りの様子

歴史「子供向け現地説明会」



松崎の郷

高津蛸座石臼



万葉の里 ひとまるフェスタ開催



9月15日に高津地区文化祭と同日開催し地域を盛り上げた



お問い合わせ先

名称: 万葉の里 高津未来の会
住所: 〒698-0041
島根県益田市高津2-5-2(高津公民館内)
電話: 0856-23-1791



☆高津公民館と共に地域の情報発信をしています。